

令和7年度
推薦入試

【 人文・文化 学 群 比較文化 学 類 】

区 分	出 題 意 図 ・ 正 解 例
小論文(1)【日本語】	問1 <u>出題意図</u> 本文内容を的確に読み取った上で、筆者の表現の意図を考察し、規定字数以内で文章をまとめる能力を問う。 <u>解答例</u> 小さな子どもに、形式的に「謝る」ことを教えられたとしても、その理由を本質的に納得させるのは難しいという事例を、まず読者に想像させている。そしてそこから、謝ったり責任を感じたりする行為を相対化し、謝罪について言葉で説明することが実は困難であるという認識を共有しようとしている。最終的に、自明なものほど説明が難しい事態について、その理由から考察を試みるという筆者の議論の方向性を提示しようとしている。(198字) 問2 <u>出題意図</u> 筆者によって、「謝罪」というものが、一見簡単なようで、その本質は説明しづらいものとして示されている。その問題意識を理解した上で、具体的な話題を提示しつつ、思考する力、批判する力があるかどうかを問う。また関心を持って事象を考察し説明する力、客観的に表現する力が備わっているかどうかを問う問題となっている。 <u>解答のめやす</u> 筆者の見解を踏まえた上で、身近な話題、あるいは社会的、世界的な文化の問題として「謝罪」を考察し、受験者自身が議論を構築することが求められる。その際、適切な例を用いて、議論に説得力を与えられているかどうかを重視する。 出典 古田徹也『謝罪論 謝るとは何をすることなのか』3-5 ページ (柏書房、2023 年)

令和7年度
推薦入試

【 人文・文化 学 群 比較文化 学 類 】

区 分	出 題 意 図 ・ 正 解 例
小論文（2）【英語】	問 1 <u>出題意図</u> “this new pattern”が前の文章の内容を受けていることを読み取ったうえで、ファスト・ファッション業界に関する筆者の説明を理解し、日本語で簡潔に表現する能力を問う。 <u>解答例</u> ファスト・ファッション業界が作り出した、1年に52の「マイクロ・シーズン」があるという新しいパターン（以前は1年4シーズン）。この結果、衣服需要が大量化し、年間約5,300万トンの衣服が製造されるようになった。(100文字) 問 2 <u>出題意図</u> ファスト・ファッション業界の“unethical labor practices”に関する筆者の記述を、日本語で簡潔に表現する能力を問う。 <u>解答例</u> 低コストで大量の衣服を生産して収益を上げるために、低賃金で規制が緩く、本社が管理責任を負わずにすむ新興国に工場を移転して、労働条件が劣悪で倫理に反する場合でも、法的責任を逃れられるようにしている。「奴隷労働」と呼ばれることさえあるほど低賃金（最低生活ができるだけの生活賃金を受けることができるのは、全労働者の2%以下）、長時間労働（1日16時間、週7日）で、児童労働搾取も行われている。労働環境が劣悪で、発癌性化学物質を吸引する危険のある工場での労働や、賃金不払いを恐れた労働者が崩壊の危険があることがわかっていた工場で労働を強制され、3,000人以上が死傷した事故など、労働者の健康と生命が脅かされている。(299字) 問 3 <u>出題意図</u>

出典	ファスト・ファッション産業に関する筆者の議論を理解したうえで、自分の議論を組み立て、社会問題に対する解決策を考案する力を問う。 <u>解答のめやす</u> 筆者の議論を参照しつつ、日常生活で身近なものが、大きな社会問題と結びついている例を具体的にひとつ挙げ、独自の議論を正確かつ論理的な文章（英語）によって展開することが求められる。筆者の意見への賛否は評価対象 とせず、適切な表現を用いて説得力のある議論を展開できているか否かを評価する。 Emma Ross, “Fast Fashion Getting Faster: A Look at the Unethical Labor Practices Sustaining a Growing Industry,” <i>International Law and Policy Brief (Student Brief)</i> , The George Washington University. https://studentbriefs.law.gwu.edu/ilpb/2021/10/28/fast-fashion-getting-faster-a-look-at-the-unethical-labor-practices-sustaining-a-growing-industry/
-----------	--